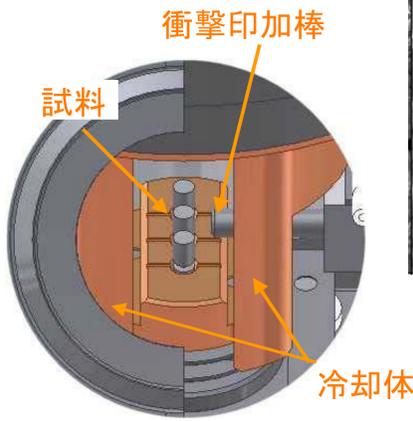
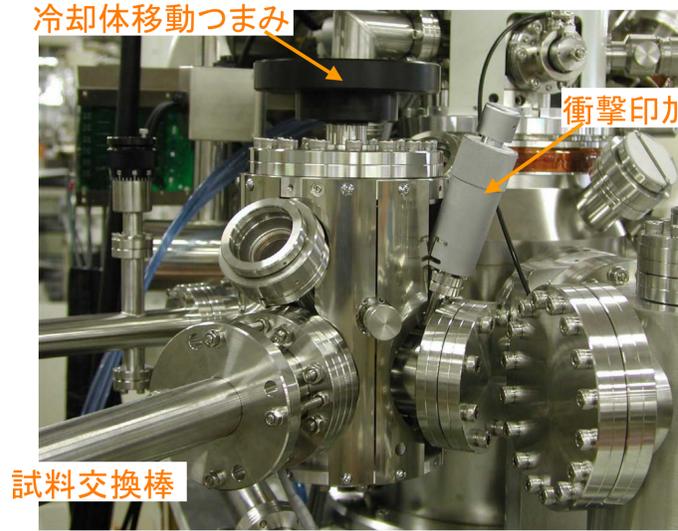


JAMP-9500F用オプション装置の紹介(2)

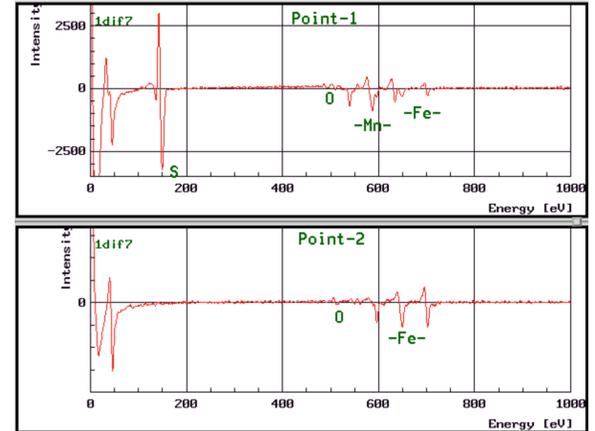
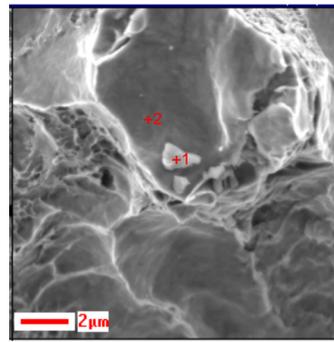
3. 試料冷却破断装置(SFD)

SFD (Specimen Fractured Device)は、鋼材中の粒界に偏析した不純物を分析するために、試料を液体窒素で冷却した状態で破断し、粒界破面を作成する装置です。

以下のデータは粒界破断した面を分析したものです。硫化マンガン(MnS)の粒子が偏析しているのがわかります。



SFDの内部

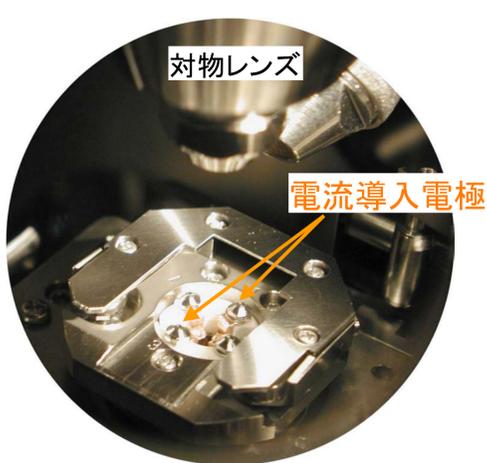


破断面の二次電子像とオージェ電子スペクトル

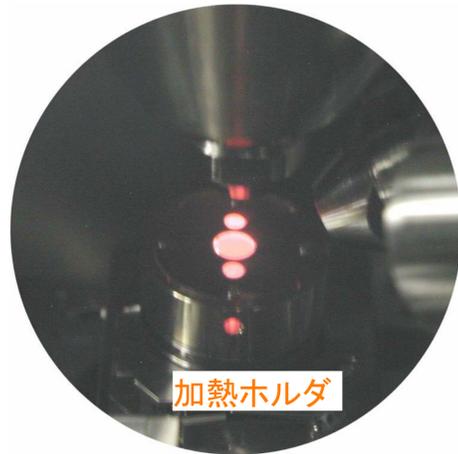
4. 試料加熱装置(ホルダ)

試料加熱装置は、ステージに加熱電流導入電極を組み込み、ホルダに内蔵されたセラミックヒータに電流を流して試料を加熱する装置です。最大600°Cまで加熱することができます。

※ 温度測定機能はありませんので、試料観察窓より放射温度計で測定します。また、加熱電源も別途用意してください。



ステージのホルダ受け部分



600°Cに加熱した状態

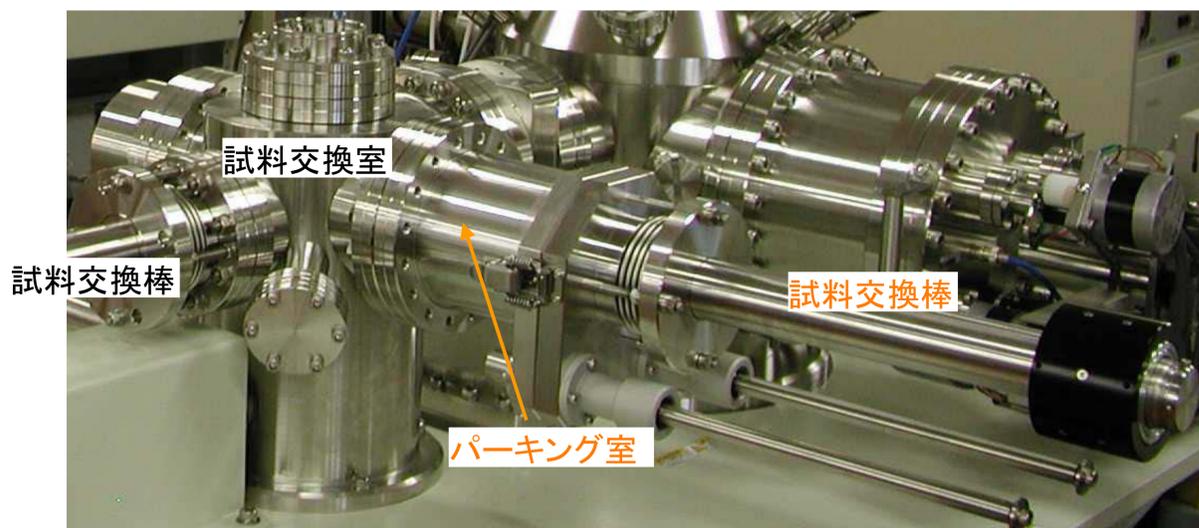
試料サイズ: 4mm × 7mm × 厚さ1mm



試料加熱ホルダ

5. 試料パーキング装置

試料パーキング装置は、試料交換室の前面に取付けるパーキング室で、最大4個の試料ホルダを収納することができます。一度の試料交換で複数の試料ホルダが装着できますので、効率よく分析することができます。



ホルダを4個装着した状態